



ジェンダーの視点を組み込んだプロジェクトの成功例

- プロジェクト目標の達成とジェンダー平等の双方に相乗効果を生んだ好例
- 貧困農村女性をエンパワーメントし、生活改善を図る協力の好例





プロジェクトの目標達成とジェンダー平等の双方に相乗効果を生む具体例

**キリマンジャロ農業技術者訓練センター計画：フェーズII
(2001年10月～2006年9月)**

プロジェクト実施までの歴史

70年代(1974~)

80年代

90年代

2000年~

キリマンジャロ地域開発

全国を対象とした農業開発

農業開発センター
(無償)

K
R
2

収穫後
処理施設整備
(無償)

K
R
2

地域開発の拠点から国の農業訓練センター(KATC)に

キリマンジャロ農業開発計画(開調)

キリマンジャロ農業開発センター計画(技プロ)

キリマンジャロ農業開発計画(技プロ)

キリマンジャロ農業技術者訓練センター計画フェーズ1(技プロ)

キリマンジャロ農業技術者訓練センターフェーズ2(技プロ)

タンザニア灌漑農業技術普及支援体制強化計画(新規案件)

ローアモシ農業開発計画(円借款)

・センター建設
・水田1100ha、畑1200haの造成
・灌漑農業技術の確立・普及

ローアモシ地域の
水稲増収達成
2t/ha → 6t/ha

全国の灌漑稲作技術者1031名に対して灌漑稲作研修を実施

全国6モデルサイト(3000ha、2000農家参加)において水稲の平均収量1t/ha増を達成

40箇所の灌漑地区2万haで1.3万農家を対象にフェーズ2モデルを展開。KATC以外に3つの農業研修所。

プロジェクト開始前のジェンダーにかかると問題認識

1. 農作業における女性の役割は大きい

農作業の6割～7割は女性の仕事；
女性の主な作業は、種籾準備、田植え、除草、脱穀など



2. 訓練センターで実施されていた農民研修への女性の参加者は極めて少ない

フェーズ1での女性参加率は機械系の研修分野は0%。最も多かった研修分野でも20%程度



習得技術の現場における実践が
不十分

プロジェクト設計におけるねらい

プロジェクト目標(『訓練センターの研修を通じてモデルサイトにおける米の生産性を向上』)を達成するためには、ジェンダーにかかる取り組みが必要。

具体的には、

女性農民に対する訓練は米の生産性の向上に効果的

女性農民に対する訓練は技術普及に効果的

ジェンダーに関する具体的取組

プロジェクトの成果の一つとして研修の計画、実施、モニタリングのプロセスにジェンダー視点を組み込むことを掲げた。

< 具体的方策 >

農民研修参加者の男女比率を50:50

研修内容を男女が同等に理解、習得できる工夫

プロジェクト関係者の意識向上
訓練センターのジェンダー責任者
体制の明確化

ジェンダー調査の実施による説
得性・合理性の向上

ジェンダー特化農民研修の実施



研修内容を男女同等に理解、習得させる工夫

講義では男女双方が発言しやすい雰囲気作り



実地訓練では男女が共同で作業に参加



研修では、ジェンダー配慮を行いましたか？

JE UMEZINGATIA JINSIA MASOMONI ?

1. Bango kitita liwe linawafaa -Me na -ke 
2. Mahali pazuri darasani pakaliwe na -ke na -Me. 
3. Wanawake wenye watoto wasaidiwe ili wasipitwe na mafunzo 
4. Hamasisha -Me na -ke kushiriki hoja na majadiliano darasani. 
5. Mambo gani ya kijinsia yanakwamisha utekelezaji ?
6. Umeona mabadiliko yoyote ya kijinsia ukilinganisha na zamani ? 

3. 子供連れの参加者が、研修にきちんと参加できるように配慮を行いましたか？
4. 男女双方の参加者が、研修に積極的に参加できるように配慮を行いましたか？

ジェンダー調査・ジェンダー研修の実施の例

男女別生活時間表

その他に労働分担表(農作業・家事)と所有物配分表の作成

男性の一日



女性の一日



女性の方が、家事を含めた労働時間が長い

- 適切な研修時間の設定
- 男性の気づきを促進

プロジェクトの成果とジェンダー取り組みとの関係

モデルサイトの単位面積当たりの平均収量は、

3.1t/ha(2002)



4.3t/ha(2005)

ジェンダー取り組みとの因果関係

< 農業技術との関係例 > 実際に農作業を行っている女性を巻き込むことにより、改良された田植えと除草作業のやり方が実現



- バラ植えから条植えへ
- 条植え導入と除草作業の効率化
- 簡易除草器具の導入

- 雑草の完全除草による養分摂取効率の改善
- 除草効率改善による労働負荷の軽減
- 男性の除草作業への参加

プロジェクトの成果とジェンダー取り組みとの関係

その2

< 技術適用と普及における効果 >

- 農作業の重要な担い手である女性農民がより積極的に農作業に従事するようになった。

女性の研修参加農民が習得技術を自分の家族の農地に実践した技術適用率の平均は80%以上であり、男性参加者の技術適用率と差は生じていない。

- 研修を通じ自信を得た女性農民が積極的に「農民間普及」を行った。

女性は井戸端会議などの独自のネットワークを持っているので、農業技術が地域社会により広く普及することが期待される。

女性は、男性に比べ知識や理解力が劣っていると思われてきました。でも、実際は私たちの能力はなかなかのもので、男性よりも迅速に習ったことを普及させることができます。

(女性 農民)

プロジェクトが地域社会に与えたジェンダー波及効果

- 家計支出における透明性の向上と妻の意見の反映
- 教育費・医療費支出が増加
- 夫婦間対話の促進、家庭内暴力の減少
- 男性による家事の分担 男性研修参加者の8割以上が家事を分担。女性研修参加者の家庭の9割以上で男性が家事を分担
- 地域社会による女性の能力の評価

女性参加者の方が意識が高い

以前は、妻を手伝うようなことはありませんでした。でも、今は妻を手伝うことが家庭の平和につながるようになりました。
(男性 農民)

もし、KATCの研修が稲作生産についてだけだったならば、以前と同じように夫だけが収入を握って、かえって、家庭内のいざこざが増えたでしょう。
(男性 農民)

妻が集合研修に参加することになったとき、正直、喜ばませんでした。説得されて、彼女を参加させただけです。しかし、彼女が研修から戻ってきたとき、彼女がどれほどすばらしいものを私たち家族にもたらしてくれたかを感じました。彼女も、自信を持って、私に習ったことを説明してくれました。それ以後、私は文句を言うのをやめ、今は彼女が研修に参加するのを支援しています。
(男性 農民)

プロジェクトにおける教訓

女性も対象に含め、男女双方の参加を通じて開発課題の解決に努めることが重要である

- 男性に対しても活動内容と目的を明確に伝え、地域社会全体に活動を受け入れてもらうことが肝要。

ジェンダーに配慮した取り組みはプロジェクト目標達成に貢献する

- 地域住民に直接アプローチするプロジェクトでは、ジェンダーに配慮した視点をプロジェクトに組み込むことは不可欠。
- ジェンダー配慮を組み込んだプロジェクトは、地域社会のジェンダー平等にも貢献する。

貧困農村女性をエンパワーメントし、 生活改善を図る協力の好例



ホンジュラス地方女性のための 小規模起業支援プロジェクト

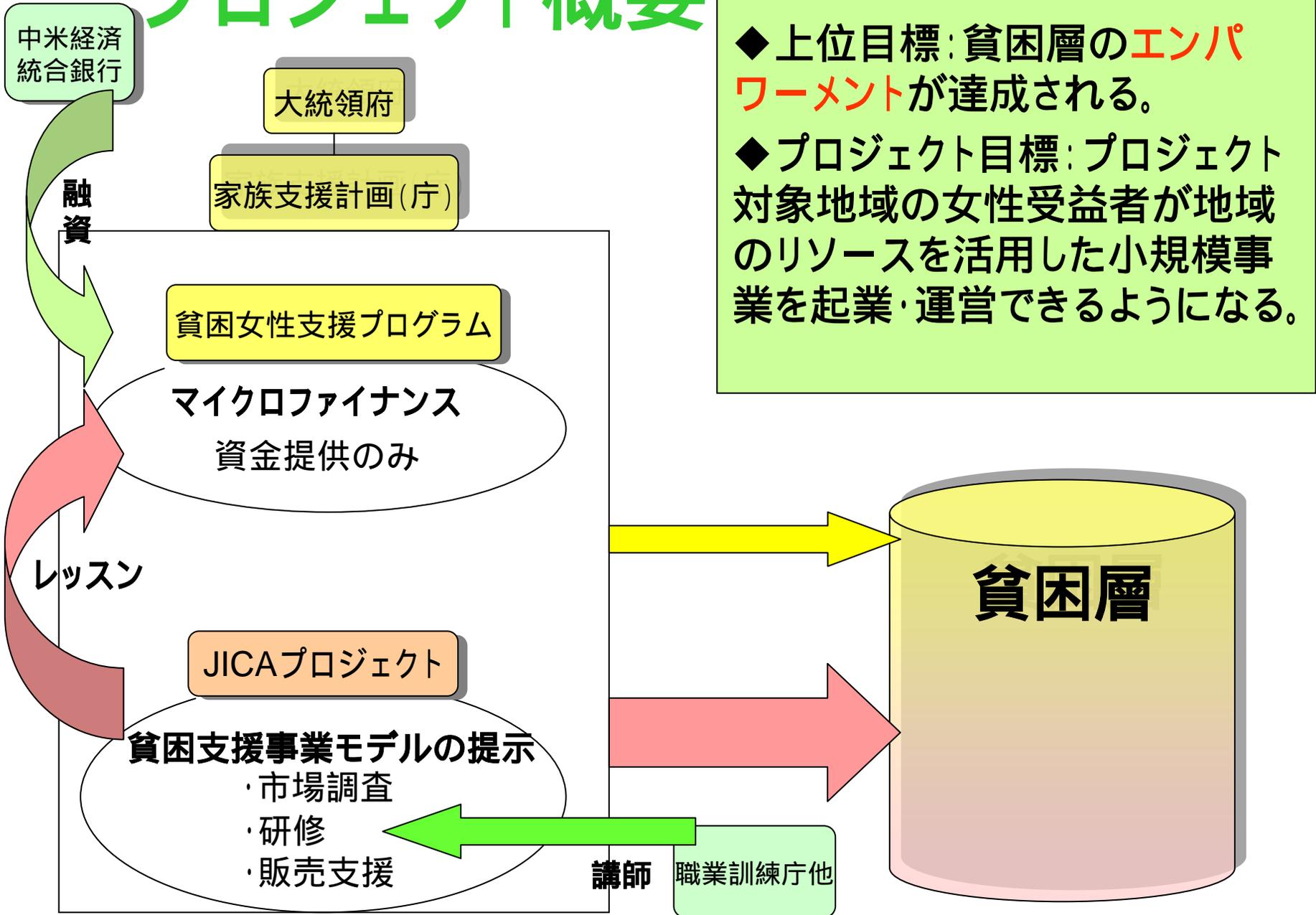
(2003年11月～2006年10月/
2006年11月～2007年10月まで延長)

プロジェクトの問題認識

1. 総人口の44%が一日2ドル以下の生活。労働力人口のうち男性の経済活動比率85%、女性は41% (男性の半分以下)
2. 既存の貧困女性の小規模起業支援プログラム (Di-Mujer) は、最貧困層の女性に届いていない。また、融資のみで融資を事業化するための研修や情報提供が不十分。
3. 新たに事業化研修なども含めた形の小規模起業支援プロジェクトをJICAが行うことにより、最貧困層も含めた女性のエンパワメントを図り、さらにコミュニティ全体の発展にも貢献する。



プロジェクト概要



事前調査(コミュニティー分析調査、社会ジェンダー状況調査、市場調査)

女性の組織化

製粉、養蜂、製パン、
グァバ生産、紙生産、
飴生産、染色、
陶器など

起業に必要な機材の貸与
(多くが2万円以下)

社会研修

(モチベーション、リーダーシップなどグループ活動を円滑に行うため)

技術研修

(生産技術向上のため)

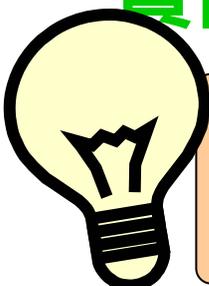
企業研修

(帳簿管理、原価計算等基本的な事業運営知識習得のため)

事業運営
生産
販売

自立的な小規模事業の起業・運営
地方貧困女性のエンパワーメント

貧困女性の起業を成功させるまでの道のり(1)



起業のための融資や技術訓練を行うだけでは、
教育が十分でない貧困女性が持続的な起業をできない

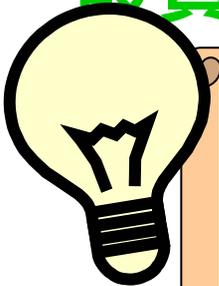
貧困女性のエンパワーメントも視野に入れたアプローチの採用

- ◆ 起業のための技術研修・企業研修と、社会研修の組み合わせによるきめ細かい研修の実施
- ◆ 個々人の内面の開発、共同作業をする際の心構えなどを養う**社会研修の充実**
- ◆ **地域普及員**がきめ細かに参加者のニーズを把握し、起業を支援。リプロダクティブヘルスや夫からの暴力など起業に直接関係ない課題についても聞き出し、参加を阻害する問題を抽出し対策を講じる。

自己開発、リーダーシップ研修など



最貧困女性の起業を成功させるまでの道のり(2)



女性の小規模起業は、家族やコミュニティの十分な理解を得る工夫がなければ家庭やコミュニティ内で摩擦が起き、持続性が保たれない。

対象の貧困女性の「孤立化」を回避し、
コミュニティ全体でプロジェクトを育てるという環境づくり

- ◆ 住民集会において、繰り返し、対象女性の家族やコミュニティリーダーにプロジェクトの意義やその効果への理解促進を図る
- ◆ 男性対象にも社会研修(自己開発、家族計画など)を実施



発現している成果と効果

成果

- ◆ 16グループの起業に成功し、そのうち6つは**自立的経営**の目処が立った
- ◆ 貧困女性を組織化し、起業家するプロセスとノウハウがマニュアル/ガイドラインとして整理された
- ◆ 男女双方の意識、行動、態度の**ポジティブな変化**が確認されている

効果

- ◆ 自治体首長レベルに対してグループ活動支援についての積極的な働きかけが発生している
- ◆ 他ドナー、NGOからの注目を得るようになっている



例えば陶器グループの場合

販売額から材料費と人件費を差し引いても、原価償却積み立てに充てる十分な利益がでている

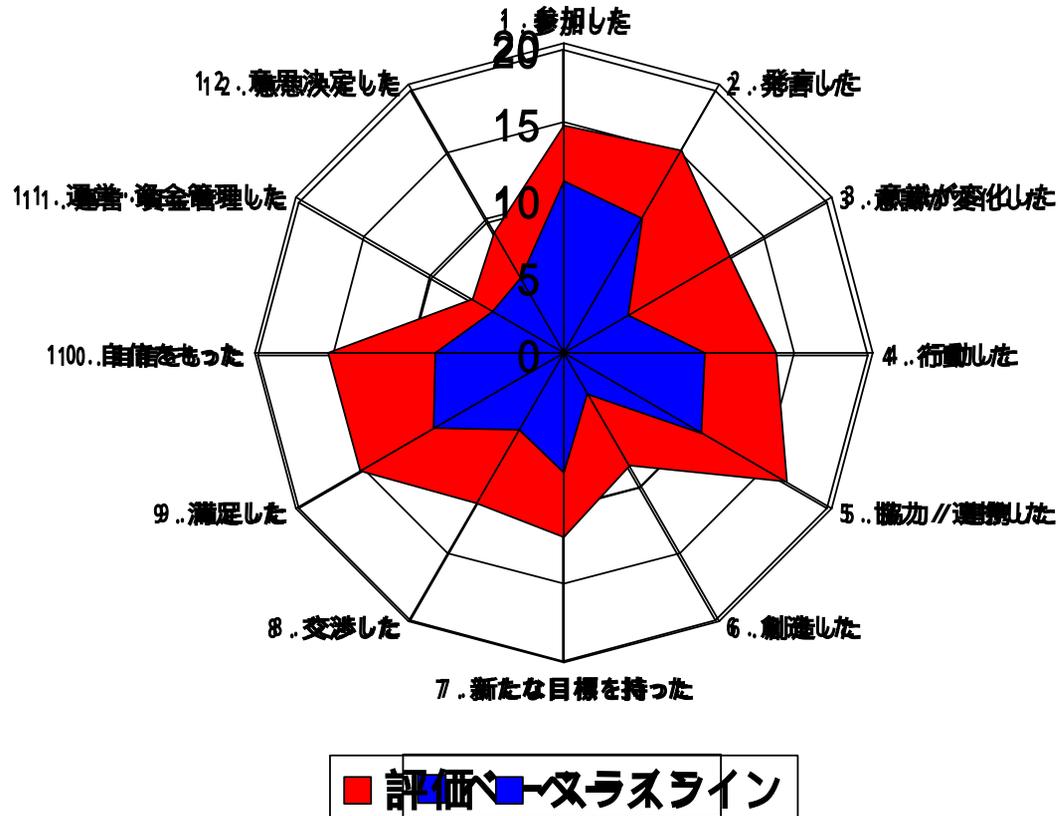
エンパワメントの度合いを測るエンパワメント指標を導入

例えば、市長へ申請書を提出し、作業場のための土地提供をうけた

➤ワールドビジョンがプロジェクト終了後のフォローやプロジェクトの成功事例の他地域への展開を検討。

エンパワーメント指標の活用による女性グループの内面的、外面的変化の可視化

グループの変化ダイアグラム



まとめ

- ジェンダー視点はプロジェクト成功への鍵となる。
- ジェンダー視点を持ったプロジェクトは、女性のエンパワメントを促し、地域社会のジェンダー平等にも貢献する。
- ジェンダー視点を組み込むことは、一人一人の人間を中心に据え、人々のエンパワメントを目指す人間の安全保障の理念の具体化につながる。
- ジェンダー視点強化のための具体策としては、事前調査段階でのジェンダー分析、実施段階でのきめ細かな取り組みが特に重要である。



